

11月15日 4:28 (ウクライナ時間 14日 21:28)

以下は、竹内 様宛に送られたメールを、日本ヨーガ療法学会に寄せてくださった、最新のタマーラさんからの情報内容です。

私からのメールに対し、日本時間の 11月15日 4:28 (ウクライナ時間 14日 21:28) 「ゼムリヤキ」代表タマーラ・クラシツカさんから届いた返信の抜粋です(原文ロシア語)。

『すぐにお返事できずすみません。計画停電のほかに、緊急の停電がいつ起こるかわからない状態です。エレベーターの中で 4 時間閉じ込められるのは本当に怖いからです、私は 9 階まで歩いて上がることにしていて、それには時間がかかります。さらに、会計系のリュドミーラと、管理責任者のタチヤナはドイツに留まっています。どうしようもなく時間が足りません。ヴォランティアの人たちが手伝ってくれますが、専従が必要です。徐々に新しいスタッフを集めなければなりません。今のところはその時間もありません。[後略]』

さらに 11月15日 5:32 (ウクライナ時間 14日 22:32)、次のメールが届きました(原文ロシア語)。

『[前略・「ゼムリヤキ」に支援金を送った宇部市「えんどうまめ」への感謝の言葉の後]9 か月の間にたまったスペースの賃借料未払いが多額になっていますので、その支払いから始め、団体を救済します。戦時中の物価高騰のため、人々は赤貧状態に陥っています。年金は戦前の水準に留まっているので、大部分の年金生活者は飢えています。医薬品を買う余裕はありません。どの家族も問題を抱えています。

では、ご質問にお答えしましょう。

1. 神のご加護で、そして皆さんのお祈りのおかげで、私たちのスペースとメンバーの住居は破壊を免れました。でも、キーウでは、非常に多くの建物が破壊されています。どの地区でもラシスト[訳注:「ロシア」と「ファシスト」を結合した造語]の集団が地区行政庁を爆撃しました。やっと最近になって、私たちの地区行政の建物では割れた窓を修復しました。まだ損傷部分が何ヶ所か残っています。

2. 私が戻ってから、団体の仕事は活性化しました。人々に医薬品、ビタミン剤、食品の支援をしています。私たちのところに受け取りに来られない人には、ヴォランティアや、近所に住んでいるメンバーが届けます。占領された村々の難民たちにも支援を届けます。彼らはすべてのものを必要としています。衣服、寝具、食品、医薬品、食器など。私たちのスペースで、提供される物品すべてを受け付け、分類し、それから必要とされる支援先に届けます。孤児院や村々の難民など。同様に、負傷した兵士たち用の医療物資も配布します。

3. 私たちの地区にも、この戦争で両親が亡くなった孤児たちがいます。いろいろな村や町から来た子供たちです。彼らは孤児院に収容されています。私たちは彼らのためにおもちゃや衣服を集めていて、間もなく持って行きます。

4. 今停電になるので、明日続きを書きます。すみません』

以上取り急ぎ、お知らせまで。

竹内高明